

花と緑の情報をお届けします

take free

グリーン・スケッチ

Green Sketch

2011年秋・冬号 No.47

contents

特集

花づくりを通じた学びと交流の場 ～長岡市緑花センター「花テラス」の紹介～

- 4 にいがた冬の散歩道
- 5 植物に親しむ 冬の楽しみ方 ～樹木を観察してみよう～
- 6 読者の広場
- 7 緑花センター掲示板

にいがた「緑」の百年物語に
参加しています。
<http://www.midori100.com>



撮影地：新潟県立植物園



財団
法人

新潟県都市緑花センター

特集

花づくりを通じた 学びと交流の場

～長岡市緑花センター「花テラス」の紹介～



市民防災公園全景

今号では、長岡市の緑化活動の拠点として平成22年10月にオープンした長岡市緑花センター「花テラス」を取り上げます。オープンから1年が過ぎ、これまでの取組みなどを紹介します。

防災と憩いの拠点に

長岡市緑花センター「花テラス」(以下、花テラス)は、JR長岡駅から1kmほどの市民防災公園の敷地内にあります。ここは旧JR南長岡駅操車場跡地で長岡市が開発を進めていたエリアです。平成16年の中大震災では、この場所に仮設住宅が建てられていました。震災を教訓に長岡防災シビックコア地区として整備され、現在はまちなかのオープンスペースとなっています。

ここには、市民防災公園やながおか市民防災センター、子育ての駅ぐんぐん、長岡市消防本部庁舎、長岡地方合同庁舎などの施設が集まっています。約3haの公園の中央には9000㎡の芝生の多目的広場があり、災害時には避難広場となり、ヘリコプターが着陸できるようにしています。このほか、約1万人の3日分の飲料水を貯水できる飲料水兼用大型貯水槽や下水道が破損した場合でも対応できる非常用トイレの設備が備わっています。また、子育ての駅ぐんぐんには、子育て支援の施設として子育て中の親子をはじめ、多世代にわたる人たちのふれあいと交流の場となっています。屋根付き広場は、雨や雪の日でも子供達が思いっきり遊べます。大規模な災害時には、この広場がボランティアセンターや緊急物資の一時集積所として災害支援活動の拠点になります。このように、ふだんは市民の憩いの場となっていますが、緊急時には市民の避難場所として機能するように整備されています。

花テラスの概要

市民防災公園の北側に位置する花テラスは、鉄筋コンクリート造り2階建ての施設となっています。建物の前には地元長岡の花火や花びらをイメージした市民花壇があり、花テラスで育てた苗を使い、市民の皆さんから花苗の植付けを行っています。市民花壇の近くにはせせらぎがあり、子供たちが水遊びを楽しめるスポットもあります。

2階の屋上庭園には、市の花のツツジやシバザクラ、菜園などが植栽されているほか、二画はサポーターの方々が手入れを行うサポーター花壇となっています。花テラスの屋上庭園と公園はスロープ状の園路でつながっており、散歩しながら公園へ行き来できるようにしています。このように公園と一体的に整備された施設となっています。



市民花壇活動



パンジーの植付け



長岡市緑花センター「花テラス」

花テラスのコンセプト

花づくりを通じた「学びと交流の場」をコンセプトに、一年中花づくりを体験できる施設です。

長岡市では市民運動から「長岡市を緑にする協会」が発足したのが昭和45年、同じ年に市の建設部に「まちを緑にする課」ができたそうです。その後、昭和47年にゴミ焼却の余熱を利用した市営フラワーセンターがオープンしたほか、昭和48年から学校花壇コンクールが10年に渡り開催されました。昭和62年に公園緑地課となって園芸相談や花と緑の教室などを開催し、現在に至っています。このように長岡市は市民による花づくり活動が非常に盛んなところです。花テラスは市民レベルでの花づくりの活動拠点として、さらに花に親しむ人たちの輪を広げたいという思いが込められた施設です。

花テラスの取り組み

花テラスでは、発芽室・育苗室を備え、種から花を育てられる環境を生かした花と緑の教室の開催、緑化事業、花づくり活動が行われています。花と緑の教室や園芸相談は3名の緑花推進指導員の方が行っています。長岡市は周辺市町村と合併し、より広範囲になったことから、花テラスにおける活動だけでなく、地域へ講師派遣も行っているそうです。

また、市民の方が花テラス・サポーターとして活動に参加しており、現在約100名の登録があります。サポーター活動で育てた花苗は、花テラスの市民花壇やプランターなどにも植えられています。現在、中学生のサポーターからも、授業の一環で種まきなどの活動に協力していただいています。



中学生によるワイルドフラワーの花がら摘み



花テラス・サポーターのポットあげ

園芸相談

園芸に関する相談に、緑花推進指導員が毎週水曜日、日曜日の午前9時から午後4時の間で行っています。

花と緑の教室

年間を通して季節の草花・人気の鉢花・庭木・植物の育て方など、いろいろなテーマで教室を開催します。



花と緑の教室の様子

緑化事業

花づくり活動

- 主な内容
- 花いっぱいフェア
 - 花いっぱいコンクール
 - 信濃川河川公園の花はな広場
 - 長岡駅前プランターづくり
 - 花苗の配布事業

- 市民花壇や温室などの活動
- 「花と緑に関する各種イベント開催
- 緑のカーテンの展示



花いっぱいコンクールの現地指導の様子

花テラスをたずねて(記者感想)

今回、センター長の小林正夫さんに施設を案内していただき、花テラスの取り組みについてお話しを伺いました。「植物の芽がでたときの感動を体験させたい」という話をよく聞きます。しかし、芽が出る前には根があるので、発根の感動を体験してもらいたいと思っています。何事も根がしっかりとついていないと育っていきません。花をつくることを通じて心を育て、人づくりをしていきたい。」とお話しが印象的でした。

ここ、花テラスから、

花づくりの新たな担い手が育ち、長岡に花の輪・人の和がさらに広がってほしいと感じました。



緑花センター長小林正夫氏



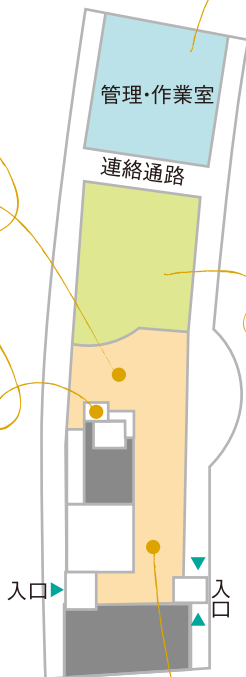
毎月発行されている「花テラスだより」教室の情報や見所などを紹介している

花テラスの主な施設をご案内します!

研修・展示コーナー

「花と緑の教室」などを開催するスペースとなっているほか、花と緑に関する催しを行う市民団体も利用できるようになっています。

1F



作業室

大型の土入れ機械があり、たくさんの苗を育てるため育苗ポットへの土入れを機械化し、効率的に作業ができるようになっています。



発芽室

光、温度、湿度を調整し、発芽しやすい環境に設定できるようになっています。一度に3万苗を育てることが出来ます。



育苗温室

光・温度・湿度を調整し、発芽した苗を育てる場所となっています。冬は雨や曇り、雪の日が続き日照が不足することや、夏は蒸し暑いという新潟の気候条件を踏まえ、太陽の光を補う補光ランプ、カーテン(遮光用、保温用)、温度を下げる霧発生器などが整備されています。補光ランプは雨や曇り、雪の日でも太陽の光を補うことが出来ます。遮光用カーテンで赤外線を防ぐとともに、冬は保温用エアーカーテンや床暖房で暖めます。霧(ミスト)を発生させ気化熱で室温を上げます。



長岡市緑花センター 「花テラス」

住所:長岡市千歳1丁目3番80号

TEL:0258-39-8718

開館時間:午前9時~午後6時

休館日:火曜日(祝日は開館)

駐車場:有り、無料

※緑花センター裏手にあります

URL <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/hana/>

長岡 花テラス 検索

交通アクセス

車で
関越自動車道 長岡ICから車で約20分

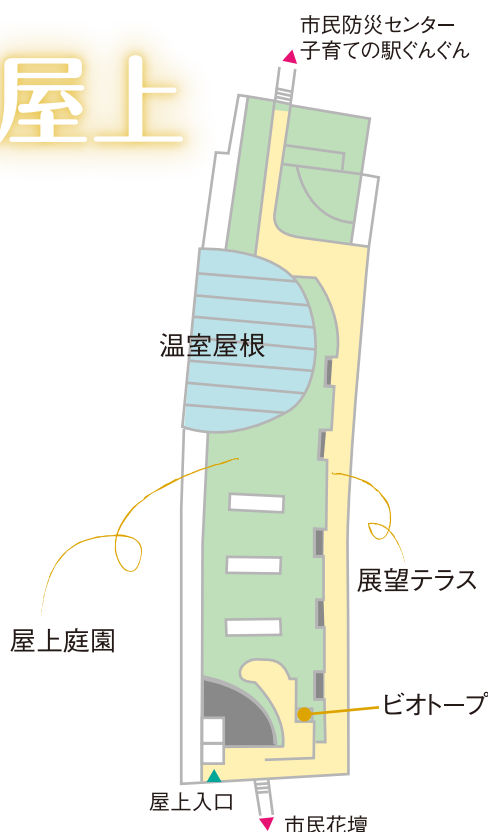
バスで
JR長岡駅からまちなかべんりバスで約5分



●次号特集予告●

今秋に新潟市にオープンした新潟市食育・花育センターを紹介する予定です。

屋上



花と緑の情報コーナー

子ども向けの絵本から図鑑まで各種園芸書があり、来館者は自由に見ることが出来ます。

また、パソコンも設置されており、インターネットでの調べ物もできるようになっています。



今回ご紹介する場所は、三条市の保内公園にある熱帯植物温室です。山の斜面を活かして整備された公園には、南国ムード満点の熱帯植物温室が正面に位置し、日本庭園、ユキツバキやサツキ等の各種見本園、遊具のあるちびっこ広場やアスレチック広場、紅葉園や池、遊歩道などがあり、四季を通じて緑とのふれあいを楽しむことができます。

熱帯植物温室は昭和61年に開園した、高さ16m、広さ878.5㎡の総ガラス張りの温室です。天井近くまで伸びたタバビトノキ、太い気根がタコの足のように見えることから名づけられたタコノキや大きな葉のバナナなど、約130種1800本の様々な亜熱帯植物が立体的に植栽されています。一年を通じて色々な花や果実が見られ、これからの寒い冬も温室の中は暖かで南国ムードを満喫していただけます。

温室に隣接する「緑の相談所」では、専門の相談員が植物に関する相談を随時受け付け（緑化相談：午前9時から午後5時）しているほか、緑化教室を開催しています。緑の相談所内の喫茶室では軽食などを楽しまれます。ここで月に1回、様々なジャンルのレコードコンサートが企画されています。



温室の様子

オープンガーデン

ここ保内地区は、古くから県内有数の植木産地として知られ、造園業も盛んな地域です。保内公園の周辺には、地元造園業の職人の方々が生み出した自宅の庭（主に日本庭園）が数多くあり、これらをオープンガーデンとして開放しています。植木の里と呼ばれる「保内地区」ならではの取組みとして、春と秋の保内公園まつりなどでは、公園を起点にオープンガーデンめぐりが企画され、非常に多くの方が参加されたそうです。オープンガーデンの案内看板を目印に入園ください。なお、CLOSEの表示がでている場合は、入園できませんのでご注意ください。

★オープンガーデンの取組は別の機会に紹介したいと思います。

保内公園熱帯植物温室

管理：指定管理者 保内緑の里管理組合
 住所：三条市下保内3714番地
 開園時間：午前9時～午後5時
 休園日：毎週火曜日、年末年始（火曜日が祝日の場合はその直後の休日以外の日）
 入園料：無料
 駐車場：無料、100台
 問合せ先：保内公園 緑の相談所
 TEL0256-38-5240
 URL <http://midorinosato-honai.jimdo.com/>

交通アクセス

- 車で
北陸自動車道 三条・燕ICから車で約20分
- 鉄道で
JR保内駅から歩いて約10分



熱帯植物温室



ベニヒモノキ



キダチチョウセンアサガオ



パイナップル

公園入口に設置されたオープンガーデンの案内看板

植物に親しむ

冬の楽しみ方

～樹木を観察してみよう～

今回は、冬ならではの樹木の楽しみ方を紹介します。

冬に向かって樹木は葉を落とします。緑で覆われていた公園も、冬には葉をおとした樹木の姿が見られます。落葉している時期だからこそ見ることが出来るものがあります。それが冬芽(ふゆめ)です。

冬を乗り切ろうと、葉や花の芽を包む冬芽はぎゅちりと襟元を締めています。冬の樹木観察では、そんな冬芽の姿や、葉が落ちた後に残る葉痕(ようこん)を楽しむことができます。冬芽や葉痕は、樹種ごとに特徴があり、顔のように見えるものもあります。代表選手は、ヒツジのように見えるオニグルミ。長い耳の部分が冬芽、顔の部分が葉痕で、目鼻に見える3つの点は維管束(いかんそく)といい、水や栄養の通り道のあとです。花木の芽は堅く、この中に花のもとが入っているとは思えないほど。開いた花を思い浮かべながら、観察してみたいかがでしょうか。

マメ知識

冬芽とは冬に休眠状態にある芽のことをいいます。樹木や多年草において夏から秋につくられます。冬芽を覆い、保護するうろこ状のものを芽鱗(がりん)といいます。

芽鱗に覆われた芽を有鱗芽、芽鱗をもたない芽を裸芽(らか)と呼びます。芽鱗の枚数はヤナギ属のように1枚のものからブナのように20枚以上もつものまであります。裸芽は芽鱗を持たないが、もともと外側の葉が芽鱗の役割をもっています。

枝の内部に隠された芽もあり、隠芽(いんが)といいます。隠芽には、ニセアカシア、サルナシなどがあります。



オニグルミ

ヒツジのようなオニグルミ(フルミ科) 裸芽



コナラ

頂芽の周囲に側芽がつくコナラ(ブナ科)うろこ状の鱗片につつまれ、タケノコのようにも見える。有鱗芽



オオカメノキ

万歳をしているよう。真ん中の丸い部分が花芽で両脇が葉芽。別名ムシカリ(スイカズラ科) 裸芽



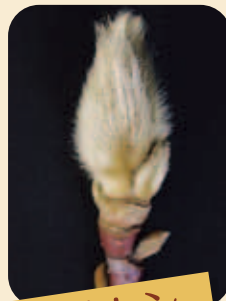
ニセアカシア

サルの顔?のように見えるニセアカシア(マメ科)隠芽



毛に覆われているハクモクレン(モクレン科) 有鱗芽

ハクモクレン



オオデマリ

オオデマリ(スイカズラ科) 有鱗芽

落葉のしくみ

落葉樹は、気温が低くなる時期に葉を落とし、暖かくなると芽吹いて葉を広げます。植物は通常、根から水分や養分を吸い上げ、茎を経て葉や花へと運びます。そして体内の水分を葉から蒸散させます。冬になると根の活動はにぶってきますが、この時期にも葉が通常の蒸散活動を続けると、樹木は衰弱してしまいます。秋が終わる頃には葉でつくられた養分のほとんどが茎のほうに移り、葉緑素もなくなります。葉柄の基部には離層ができ、それによって水や養分が流れにくくなります。やがて養分や水分を運んでいた管も通じなくなり、葉柄は離層のところから離れ落ち、あとはコルク層でおおわれます。

常緑樹はというと常に葉があって、落葉しないようなイメージがありますが、葉は入れ替わっています。落葉樹のように一度に全ての葉を落とさないことや、新しい葉が出てから古い葉を落とすので、外観では常に葉をつけているように見えるためです。

読者がおすすめの

県内で動物と 触れ合える公園を紹介!

思い浮かぶのは、**加茂山公園のリス園**です。シマリスが元気にあちこち走り回り、時には手や肩にまでのってきたり、とてもかわいく癒されます。
(アンケートハガキより 見附市 内山さん)

comment

加茂市の加茂山公園のリス園に関して、たくさんの方からおすすめのコメントをいただきました。小さなシマリスがとってもかわいいですよ。営業期間は4月第1日曜日～11月23日まで。休園日は毎週月曜日。入園無料。

長岡市宮スキー場の隣にある**東山ファミリーランド**です。子供の頃よく行きました。うさぎなどにふれることもできます。また、ポニー乗馬やトリム遊具もあり、自然の中で思いっきり楽しめるので、おすすめです。
(アンケートハガキより 燕市 遠藤さん)

comment

ファミリーランドにはポニー広場での乗馬体験、動物ふれあい広場で羊やうさぎにふれあえます。(営業期間は4月第2土曜日～11月第2日曜日)

教えてください!

秋の紅葉がおおすすめの 公園や庭園(新潟県内)を教えてください!

皆さんがお気に入りのスポットをご紹介ください。どんなところが良いのかその理由も教えてください。綴じ込みハガキの④に記入して、お送りください。ファックスやEメールでも受け付けています。住所、氏名、電話番号を明記の上、下記までお寄せ下さい。掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただきます。なお、掲載させていただいた方には粗品を進呈します!どしどしお寄せください。

●FAX.025-257-8766 ●e-mail center@greenery-niigata.or.jp
(e-mailでのおたよりは添付形式にせずにお送りください)

締切:1月20日(消印有効)

46号『植物クイズ』当選者発表

正解は②**アセビ**でした。
当選者は以下のの方々です。
おめでとうございます。

豊島 政之さん(阿賀野市)
相沢 忍さん(上越市)
増田 まさ子さん(新潟市)
大貫 隆夫さん(新発田市)
遠藤 浩史さん(加茂市)



写真は何の花でしょう。名前は、葉につやがありフキによく似ていることに由来しています。キク科の多年草で、冬期に黄色の花が咲きます。葉の形が腎臓の形と似ているのが特徴です。花の少ない冬期に花を咲かせるので古くから庭に植えられています。斑入りの品種もあります。

- ①ツワブキ
- ②ヒマラヤユキノシタ
- ③フクジュソウ

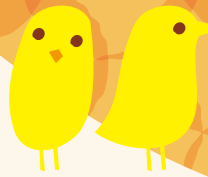
答えを綴じ込みのアンケートハガキにご記入のうえ、お送りください。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。

締切:1月20日(消印有効)

※記入いただいた個人情報は、感想等の掲載・当選者の発表と景品の発送、および今後の誌面づくりの参考としてのみ利用します。

読者の広場

皆様からお寄せいただいた
情報誌の感想やおすすめの公園などをご紹介します。



公園

園サポーターや植物園ボランティアが、こんなにたくさんさんの仕事をしてるのを初めて知りました。これからも頑張ってください。
(アンケートハガキより 佐渡市 締張さん)

公園

園サポーターやボランティア活動の存在を初めて知り、感動しました。私と同じように役所の職員の方が手入れをしているのなんと漠然と思っていた人がいたので、誌面で情報発信は良いと思いました。
(アンケートハガキより 胎内市 田村さん)

comment

46号の特集で、県立公園の公園サポーター、ボランティア活動を紹介します。このような活動を通して、公園の管理運営を知っていただくとともに、一緒に汗を流しながら、花や緑にふれ、親しんでいただきたいと思います。活動は主に春から秋に行っていますので、興味のある方は来春ぜひご参加ください。

その他、悠久山公園(長岡市)などの情報をお寄せいただきました。

昨日

年も今年も北方文化博物館の大藤棚きれいでしたね。越後の千町歩、大地主の豪農の館は県内の誇りですね。
(アンケートハガキより 新潟市 平沢さん)

ボ

ランテアやサポーター活動は難しいことだと思っていました。が、お花とふれあい、親しみながらできると思うと楽しそうですね。
(アンケートハガキより 三条市 寺田さん)

comment

46号の植物に親しむではシンビジュウムの管理を取り上げました。ご自宅での管理の参考にしていただき、来年も花を楽しめるとうれいですね。当センターのホームページでは、これまでに発行した情報誌を見ることが出来ます。見逃した方は、ぜひこちらをご覧ください。

シン

ンビジュウムは買った時はきれいに咲いているのですが、次の年はなかなかきれいに咲かないので本号の管理を参考にしてみようと思います。
(アンケートハガキより 妙高市 広瀬さん)

植物クイズ

クイズの答えと当選者は次号に掲載します。

公園 news

公園からのお知らせなどをご紹介します。募集告知については、各公園事務所へ直接お問い合わせ、申し込みください。

県立植物園 新潟市秋葉区金津186



昨年度の展示

観賞温室企画展「クリスマス展」開催

11月に入ると植物園では一足早いクリスマスが訪れます。ポインセチアやシクラメン、コニファーなどクリスマスを演出する植物とともにイルミネーションが施された大ツリーが会場内を華やかに彩ります。

- 開催期間:平成23年11月16日(水)から12月26日(月)
※月曜日が休館日です。ただし、最終日の12月26日は開館。
- 会場:観賞温室第2温室(温室入館有料)
※土日祝日は小中学生温室入館無料です。

「ジャングルイルミネーション」11/29(火)～12/26(月)
熱帯植物ドームの植物や洞窟内がイルミネーションで輝きます。

「開館時間延長」12/23(祝)～25(日)

通常16:30までの開館を19:30まで延長(19:00入館締切)
イルミネーションがより一層輝きを増す夕方からの時間にゆっくりお楽しみください。

「温室入館無料デー」12/4(日)

開園13周年。日頃のご愛顧に感謝の気持ちを込めて温室入館料を無料といたします。

問合せ 新潟県立植物園 TEL0250-24-6465 <http://botanical.greenery-niigata.or.jp>

東北電力 ビッグスワンスタジアム 新潟市中央区清五郎67番地12

新春フェスタ2012を開催します!

東北電力スタジアムをより身近に親しんでもらおうと、冬の遊休時に開催しているイベントです。普段は入れないスタジアムの裏側を探検するツアーや子供達に大人気のキャラクターショー、フリーマーケットでは掘り出し物を探してみたいかがでしょうか。トラックは無料開放していますので、ジョギングなどで体をリフレッシュしてみませんか。飲食・喫茶コーナーも用意していますので、ぜひお出かけ下さい。

- 開催日時:平成24年1月15日(日) 10:00～16:00
- 主催:指定管理者 アルビレックス新潟・都市緑花センターグループ



好評のスタジアムツアーの様子

問合せ 東北電力ビッグスワンスタジアム TEL025-287-8811 <http://www.tohokuden-bigswan.com/>

第8回都市公園・まちなか緑花写真コンテストのお知らせ

今回で8回目となるコンテストは、「花や緑のある風景」をテーマに、「都市公園部門」と「まちなかの緑花部門」の2部門で作品を募集します。「都市公園部門」は、新潟県内の県立都市公園を対象としていましたが、国営越後丘陵公園も新たに対象に加わりました。写真作品の受付期間は以下のとおりです。これからでもまだ間に合いますので、秋冬の写真も撮影して、ぜひご応募ください。要項は各公園やフジカラー取扱店でもらうことができるほか、当センターホームページでもダウンロードできます。写真作品を通して公園やまちなかの緑や花の魅力を伝え、大勢の方から公園を訪れていただくとともに、まちの中の緑や花を意識していただくきっかけにしたいと考えています。

- 作品受付期間:平成23年12月1日(木)～平成24年1月31日(火) 当日消印有効



審査の様子

新潟県花いっぱいコンクールが開催されました

このコンクールは、「あしたの新潟県を創る運動協会」が「花づくりを通して、まちづくり・人づくり」に励む団体を表彰し、花いっぱい運動の輪を広げることを目的に開催している事業です。44回目となる今年は、県内各地から「保育園・幼稚園」、「小学校」、「中学校」、「地域・職場」の4部門で合計51団体の応募がありました。

コンクールの審査員として、当センターから県立植物園の倉重副園長が参加しました。応募団体から提出された応募用紙と1枚の大洋紙に年間の取り組みをまとめた作品により、審査されました。10月22日に表彰式が行われ、入賞作品は今後植物園等で展示される予定です。

最優秀賞は次の団体です。「保育園・幼稚園」…恵和保育園、「小学校」…長岡市立桂小学校
「中学校」…長岡市立関原中学校、「地域・職場」…長岡市社会福祉協議会中之島支所

緑花センター 事務所からの お知らせ

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などに配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡下さい。